

〔大阪城南女子短期大学研究紀要 第59巻 95 ～ 108頁 令和7年3月〕

「教職実践演習(幼稚園)」における学生の学び — 模擬保育を通して —

樋口 幸

〔実践報告〕

「教職実践演習（幼稚園）」における学生の学び —模擬保育を通して—

樋口 幸

I. はじめに

「教職実践演習」の科目の趣旨は、「今まで学生が身に付けた資質能力が、教員として最小限必要な資質能力として有機的に統合され、形成されたかについて、大学が自らの養成する教員像や到達目標等に照らして最終的に確認するものであり、いわば全学年を通じた『学びの軌跡の集大成』として位置づけられるもの」¹⁾である。

この科目の実施にあたっては、この趣旨を踏まえ、教員として求められる4つの事項、①使命感や責任感、教育的愛情等に関する事項、②社会性や対人関係能力に関する事項、③幼児児童生徒理解や学級経営等に関する事項、④教科・保育内容等の指導力に関する事項、を含めることが適当であると示されている。すなわち、学生は、この科目の履修を通じて、保育者としての使命感や職務について自覚し、自分の課題を認識し、必要に応じて不足している知識や技能を補い、その定着を図る。そして、学生が教職生活に円滑なスタートをきれるようにする。

授業方法としては、講義の他、ロールプレイング、グループ討論、事例研究、フィールドワーク、実務実習、模擬授業等を取り入れることが考えられる。

II. 大阪城南女子短期大学における授業の位置づけ

昨年度まで担当していた大阪城南女子短期大学における「教職実践演習（幼稚園）」（以下、本科目）においても、答申に示された4つの事項と大阪城南女子短期大学の卒業までに学生が身に付けるべき資質能力を示すディプロマ・ポリシー²⁾、それを達成するための教育課程の編成・実施のあり方を示すカリキュラム・ポリシーを基に、授業のねらいを達成できるよう授業計画を立て実践を重ねてきたと考えられる。本科目は、筆者が担当する前年までは、複数の教員が担当し、オムニバス形式で授業を展開していた。しかし、2021年度からは筆者1人が本科目を担当することになり授業内容の見直しを行った。見直しの検討にあたり、2020年度の授業計画を基に、教育方針の方向性や教育の現状を踏まえながら、学生のこれまでの学修の課題を鑑みて学生の学びに学生主体の模擬保育（遊びの活動）を取り入れた。授業計画を立てる際には、「保育・教育実践演習」の一環として取り組んだイベントにおいて資質能力に対する学生の自己評価の変化を検

討した米倉ほか(2016)³⁾の実践報告、学生のレポートを中心に分析し教職実践演習の在り方を探った近藤・林(2019)⁴⁾の実践報告や筆者が学生時代に経験したレクレーションの授業内容を参考にした。筆者が初めて本科目を担当した2021年度はCOVID-19流行の影響から対面授業が行えない日もあり、学生一人ずつの遊びの発表となったが、2022年度からは全ての授業が対面で行われるようになり、模擬保育を「お楽しみ会」と名付けてグループで子どものための会を企画し実施することができた。

そこで、本稿では2023年度の「教職実践演習（幼稚園）」の授業を概観し、模擬保育「お楽しみ会」についての振り返りシートや最終課題レポートの結果を中心に実践報告を行う。

III. 授業内容

1. 授業の構成

2023年度「教職実践演習（幼稚園）」の目的は、①今まで学生が身につけた資質能力が、教員として最小限必要な資質能力として形成されたかについて、大学が自らの養成する教員像や到達目標などに照らして最終的に確認するもの、②「学びの軌跡の集大成」として位置づけられるもの、③幼児教育に関わる者としての使命感や職務について自覚し、自分の課題を認識し、必要に応じて不足している知識や技能等を補い、その定着を図る、④学生が、安心と自信をもって教職生活に円滑なスタートをきれるようにするためのもの、とした。また、到達目標は幼稚園教諭に必要な、①使命感や責任感、教育的愛情、②社会性や対人関係能力、③幼児理解やクラス運営力、④保育内容に即した指導力、を身につけることとした。

2. 履修カルテと「教職を目指す上での自己評価」

本科目は前述したように、学生が教員として必要な資質能力を身につけるための重要な一端を担うものであり、その後の教職員生活を円滑にスタートするための基盤となるものである。そのための方法の一つとして、2年次のオリエンテーションで今までの学修を俯瞰するために「幼稚園教諭二種免許課程 履修カルテ」を記入している。そして、教職に関する科目の履修状況を鑑みて、「教職を目指す上での自己評価」における各項目について自己評価を行い、自己の課題を自らが分析し振り返り用紙に記入している。

さらに、2023年度後期「教職実践演習（幼稚園）」初回授業において、大阪城南女子短期大学の「教職を目指す上での自己評価」（表1）を用い、教員に求められる必要な資質能力について自己の学びの評価のチェックを行った。その結果を分析し、学生が不足していると感じる項目を補う授業内容を検討した。

分析方法は、「教職を目指す上での自己評価」が4段階評価であるため、各質問項目の回答について、「A そう思う」を4点、「B 概ねそう思う」を3点、「C あまりそう思わない」

「教職を目指す上での自己評価」の評価が C（あまりそう思わない）・D（そう思わない）で合計が10%以上の項目を表2に示した。

教職を目指す上での自己評価

大阪城南女子短期大学

表2 「教職を目指す上での自己評価」の評価がC（あまりそう思わない）・D（そう思わない）で合計が10%以上の項目

項目	指標	到達目標	C・D (%)
学校教育についての理解	教育の理念、教育に関する歴史・思想についての基礎理論・知識を修得している。	①使命感や責任感、教育的愛情	10.1
	幼稚園教育の社会的・制度的・経営的理解に必要な基礎理論・知識を修得している。	①使命感や責任感、教育的愛情	10.1
子どもについての理解	子ども理解のために必要な心理・発達論的基礎知識を修得している。	③幼児理解やクラス運営力	10.1
	学習集団形成に必要な基礎理論・知識を修得している。	③幼児理解やクラス運営力	10.1
教育課程に関する基礎知識	幼稚園教育要領の内容を理解している。	④保育内容に即した指導力	11.6
	情報教育機器の活用に係る基礎理論・知識を修得している。	④保育内容に即した指導力	16
教育実践	教材を分析することができる。	④保育内容に即した指導力	31.8
	教材研究を生かした教育実践を構想し、子どもの反応を想定した教育案としてまとめることができる。	④保育内容に即した指導力	17.4
	学級経営案を作成することができる。	③幼児理解やクラス運営力	46.3

「教職を目指す上での自己評価」の評価の達成度が低い項目は、到達目標のうち、幼稚園教諭に必要な「幼児理解やクラス運営力（学級経営案を作成することができる）」、「保育内容に即した指導力（教材を分析することができる）」に、学びの不足を感じていることが示された。この結果を踏まえ学生の不足した学修を補う「補充学習」を含め、2023年度の授業を表3の通りに計画し実施した。

表 3 「教職実践演習（幼稚園）」授業計画

	テーマ	
1	オリエンテーション、今までの学修の振り返り、お楽しみ会・あそび BOOK について	
2	教職の意義や教員の役割・職務内容について	グループディスカッション：「お楽しみ会」企画書作成
3	自己課題の認識と自己研鑽に励む姿勢について	グループディスカッション：「お楽しみ会」企画書作成
4	幼児の成長と安全、健康管理に関する教育活動について	グループディスカッション：「あそび BOOK」作成
5	社会性や人間関係能力について	グループディスカッション：「あそび BOOK」作成
6	教職員との協力する教育活動について	模擬保育「お楽しみ会」①
7	保護者支援と地域貢献について	模擬保育「お楽しみ会」②
8	豊かな人間性とその向上について	模擬保育「お楽しみ会」③
9	幼児の特性と発達理解について	模擬保育「お楽しみ会」④
10	幼児理解とクラス運営について① (幼児の発達と信頼関係を通して)	模擬保育「お楽しみ会」⑤
11	幼児理解とクラス運営について② (集団への指導と学級づくりについて)	コマ回し大会
12	教材研究と教育指導案について	模擬保育「お楽しみ会」⑥
13	幼稚園・小学校の連携について	あそび BOOK の製本・あそび BOOK 提出
14	ICT：保育ドキュメント・今後求められる実践力について	
15	人権擁護のためのセルフチェック・最終レポート課題	

3. 模擬保育「お楽しみ会」

学生が学びの不足を感じている幼児理解やクラス運営力、保育内容に即した指導力、の項目を積極的に授業内容に取り入れ、授業を2本立てで考えた。前半は筆者の講義、後半は学生主体の模擬保育「お楽しみ会」の企画と実践である。従って、15回の授業の内、2回目から13回目までは前半30分を主に前述した補充学習のための講義を行い、後半の60分は模擬保育のための準備及び実践にあてた。その中で、模擬保育を実施したのは計6回であった（表3網掛の部分）。

1) 模擬保育の実施方法

①模擬保育を実施するまでの準備：「お楽しみ会」の企画と「あそび BOOK」の作成

「お楽しみ会」は、クラスを5～6人グループに分け、幼児を対象としたお楽しみ会開催について各グループで話し合い、お楽しみ会企画書（図1参照）を提出する。学生が選んだ遊びは新聞遊び、手遊び、製作、音楽表現、スケッチブックシアター、絵本の読み聞かせ、ジェスチャーゲーム、伝言ゲーム、クイズ等多岐にわたる（表4参照）。各グループのリーダーは、お楽しみ会の内容が重ならないよう話し合い調整し教員のチェックを受け、グループ全員で協力し、あそび BOOK の資料作成と実践の準備を進めた。あそび BOOK の作成は一人一つの遊びを担当するため一人一人が担当の遊びについてのレジュメを作成した（図2）。

「お楽しみ会」企画書<教職実践演習（幼稚園）> 【3歳・4歳・5歳「お楽しみ会」企画書】				反省・評価
月 日（金）場所： 担当：				
ねらい 時間	活動の流れ	環境構成及び配慮	備考（準備品 等）	

図1 「お楽しみ会」企画書

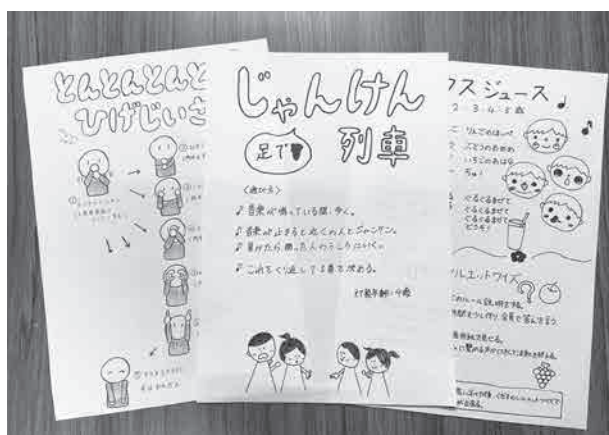


図2 あそびBOOK レジュメ

②あそびBOOK の作成

あそびBOOKは、お楽しみ会で取り入れる（保育に取り入れることができる）手遊び、ゲーム、製作、絵本等を図解入り（図2）でまとめ、13回目の授業内で表紙、プログラム（図3）、裏表紙をつけて製本した（図4参照）。

表 4 模擬保育「お楽しみ会」企画書課題で各グループが考えたプログラム

	A クラス	B クラス
1 回 目	1. 手遊び「はじまるよ」 2. えほん『いただきますのおやくそくだもの』 3. ドミノ倒し 4. カブラで高く積み上げてみよう！ 5. ミッキーマウスマーチ 6. カブラボール	1. 手遊び「はじまるよ」 2. 爆弾ゲーム 3. ○×クイズ 4. 箱の中身 5. どこが変わったでしょう？ 6. 障害物競走 7. ダンス「マルマル、モリモリ」
2 回 目	1. 手遊び「はじまるよ」 2. スケッチブックシアター『どんな色が好き？』 3. 折り紙「しゅりけん」 4. ○×クイズ 5. じゃんけん列車 6. コップタワー	1. 手遊び「棒がいっぱい」 2. なぞなぞ 3. ○×クイズ 4. スポーツ限定！ジェスチャーゲーム 5. じゃんけん列車 6. BINGO
3 回 目	1. 手遊び「ミックスジュース」 2. 絵本 3. 3ヒントクイズ 4. ジェスチャー伝言ゲーム 5. フルーツじゃんけん列車 6. フルーツバスケット 7. ○×ゲーム 8. シルエットクイズ	1. バンバンゲーム 2. 3ヒントクイズ 3. アニメイントロ 4. ○×ゲーム 5. Autumn なぞなぞ 6. グーチョコキパーじゃんけん 7. 折り紙「くまのかお」
4 回 目	1. コロコロたまご 2. とんとんとんとんひげじいさん 3. 絵本『パンどろぼう』 4. スケッチブックシアター 5. おえかき伝言ゲーム 6. フラフープリレー 7. いすとりゲーム	1. 手遊び「いちといちで～クリスマス」 2. 絵本『100人のサンタクロース』 3. 紙皿シアター 4. 動物なりきりゲーム 5. もうじゅうがりにいこうよ 6. 高速しりとり
5 回 目	1. 手遊び「かみなりどんがやってきた」 2. 絵本『おおきなかぶ』 3. 折り紙「サンタクロース」 4. カードめくり 5. なんでもバスケット 6. あいたたじゃんけん	1. ロンドン橋 2. 人間知恵の輪 3. 私は誰でしょう 4. 伝言ゲーム 5. イントロどん 6. ジャンボリーミッキー
6 回 目	1. 手遊び「とんとんクリスマス」 2. 絵本『よかったね ネットくん』 3. 折り紙「サンタの折り紙」 4. 風船バレー 5. 伝言ゲーム 6. ハンカチ落とし	1. 手遊び「手をたたきましよう」 2. 大型絵本『まどからのおくりもの』 3. 折り紙「サンタクロース」 4. スケッチブックシアター「魔法のレンジ」 5. ジェスチャーゲーム 6. わっか作りゲーム 7. 歌「あわてんぼうのサンタクロース」



図3 プログラム



図4 あそびBOOK表紙

③模擬保育実施日の流れについて

模擬保育「お楽しみ会」実施日の流れを表5に示した。

模擬保育を始める準備は、休憩時間に行った。子ども役の学生には、インターンシップや幼稚園・保育所実習で出会った子どもたちを思い出し、この対象年齢の子どもであればこのような言動、行動をするかもしれないと思われることは積極的に表現すること、また保育者役の学生が対応に困っている場合は、演技を臨機応変に加減することを伝えた。

表5 模擬保育実施日の流れ

予 定	時 間
① 模擬保育の準備（模擬保育室の環境設定、打ち合わせなど）	約 15 分（休憩時間）
② 模擬保育の実施（模擬保育室への移動時間を含む）	約 45 分
③ 模擬保育の片付け・振り返りシートへの記入	約 15 分

2) 学生の振り返りについて

①方法

- 模擬保育「お楽しみ会」直後の振り返りは、毎回の模擬保育後に Google フォームを用いて実施した。そして、振り返りの集計を筆者がまとめ、次回の講義授業の中でグラフやテキストマイニングを使って総評を伝えた。
- 最終レポート課題のテーマは「模擬保育お楽しみ会の実施においてよかったと思うこと、

もっとうすればよかったと思うこと（反省点・改善点）」について自由に記述することとした。

②倫理的配慮

模擬保育「お楽しみ会」直後の振り返り、最終レポート課題提出時に学生全員を対象に本報告への使用について口頭で説明した。さらに、文章を引用する際には個人は特定されず、回答者に不利益が生じないことを説明し、同意を得た。

3) 模擬保育直後の振り返りシート・最終課題レポートに見られた学生の気づき

①模擬保育を終えた直後の振り返りシートに見られた学生の記述

模擬保育を終えた直後の振り返りシートに見られた学生に記述の一部を表6に示した。

表6 模擬保育「お楽しみ会」授業直後の振り返りシートに記載された学生の記述例
（＊は保育者役、・は子ども役、の記述）

回	クラス	よかったと思うこと	もっとうすればよかったと思うこと
1 回目	A クラス	<ul style="list-style-type: none"> ・肯定的な声掛けが良かったと思います。 ・みんなが楽しめるものだったので楽しかった。 ＊グループでしたので協力してできたので良かったです。 	<ul style="list-style-type: none"> ・遊びの時間がもう少しあったらよかったと思いました。 ・絵本を大きいものにすると見えやすいと思いました。 ・最後のドミノの内容をしっかりと決めてスムーズに進めるとよいと思いました。
	B クラス	<ul style="list-style-type: none"> ・色々な遊びがあつてすごく楽しかったです。 ＊最後みんなで踊って楽しく終わられてよかった。 ・小道具などしっかり準備されていた。 ・簡単なルールで分かりやすかった。 	<ul style="list-style-type: none"> ・爆弾ゲームは保育者がもっと介入した方がいいと思った。 ＊周りがガヤガヤしてしまい、収集がつかなかった。もっとグループで話し合っていたらスムーズにいったと思う。 ・障害物競走のときに参加しない人が退屈しないようにして欲しかった。
2 回目	A クラス	<ul style="list-style-type: none"> ・みんなが協力して参加していた。 ・フォローがみんなできていたと思います。折り紙をみんな回って教えてくれた。 ・参加しやすい雰囲気になっていた。 ・手裏剣をつくってみんなで遊んで楽しかったです。 	<ul style="list-style-type: none"> ・○×クイズの問題がひらがなだったら良かった。 ・声がもう少し大きかったら良かったかなと思いました。 ＊分かりやすく説明することが難しかったです。 ＊誰がどこをするかなどもっときちんと決めてちゃんと進めていたら良かった。

2 回目	B ク ラ ス	<ul style="list-style-type: none"> ・一つ一つの遊びが簡単でわかりやすかった。 ・みんな参加できて楽しかったです。 ・ビンゴとジャンケン列車が楽しかったです。 ・手遊びの説明がわかりやすかった。 ・ジェスチャーゲームがめっちゃくちゃ盛り上がって面白かったです。 	<ul style="list-style-type: none"> ・なぞなぞはもう少し簡単でもいいかなと思いました。言葉だけではわかりにくい部分があった。 *時間を決めてしっかりとすべきだった。 ・ジェスチャーゲームのお題が同じのばかりだった。 ・同じ人が、協力しあっているように見え、グダグダな感じになっていたのでもとまるといいなと思いました。
	A ク ラ ス	<ul style="list-style-type: none"> *みんなが楽しくしている姿が見られたのでよかったです。沢山考えてこのグループでできてよかったです。 ・教材とかもちゃんと用意していてよかった。 ・わかりやすい説明でとてもよかったです。 ・一人一人協力してやっていたのが良かった。 	<ul style="list-style-type: none"> *少し戸惑ってしまう場面もあったので、活動の順番を決めておけばよかった。 ・フルーツじゃんけん列車の時にもう少し説明があったらよかったとおもいました。 *椅子の出し方とか椅子に座るなら順番変えた方がいいねとかもっと話し合えば良かったと思いました。
3 回目	B ク ラ ス	<ul style="list-style-type: none"> ・イントロクイズが盛り上がって楽しかった。クイズが多くて、楽しかったです。 ・じゃんけん列車は全員が参加できていいと思う。 ・みんなが仲良く出来た楽しいお楽しみ会でした。 ・言葉を一つ一つ拾ってくれた。 	<ul style="list-style-type: none"> ・バンバンゲームは子どもには難しいと思った。 ・クイズなのに司会が答えていた。 ・○×クイズの答えの解説をして欲しかった。 *もう少し流れを大切にしたらよかった。 ・全体でできるゲームがあればいいなと思いました。
	A ク ラ ス	<ul style="list-style-type: none"> ・皆が楽しめるゲームばかりですごく楽しかった。 ・最後の椅子取りゲームの終わり方が良かった。 ・楽しく活動することができた。 ・保育者が楽しそうにしていたよかったです。 *最初の方は緊張したけどめっちゃくちゃ楽しかった。 *皆が楽しくゲームに参加してくれて嬉しかった。 	<ul style="list-style-type: none"> ・落ち着いて声をかけたり、大きな声でやるとよいと思った。 ・説明の言葉が足りなかったと思った。 ・椅子取りゲームは、私たちの年齢だからいいけど子どもたちには危ないと感じた。 ・音楽などの大きさにも工夫があればもっとよかった。 *椅子の距離を離し歩けるようにすればよかった。
4 回目	B ク ラ ス	<ul style="list-style-type: none"> ・高速しりとりが少し難しかったけれど、楽しかった。 ・絵本も読み方すごく上手だった。 ・身体を動かす遊びが多くてとても楽しかったです。 *みんなで楽しく出来てよかったなと思いました。 ・ルールが簡単で分かりやすいのが多かった。 	<ul style="list-style-type: none"> ・高速しりとりはルールをしっかりと決める。 *もう少しスムーズに出来るように準備する。ルールなど全員が把握しておく。 ・高速しりとりは高速にしないでよかったと思いました。ヒントの出し方とか、活動が難しい子どもへの援助も考えたほうがよい。
	A ク ラ ス		

5 回目	A クラス	<ul style="list-style-type: none"> ・保育者役の人のテンションが高くて楽しかった。 *スムーズにゲームができたのでよかったです。 ・折り紙の説明の仕方が分かりやすかった *みんなの顔を見て周りをよく見た。 ・絵本の読み聞かせは見えやすく、参加ができて楽しかったです。絵本の読み方が上手でした。 ・表裏裏返すゲームが楽しかった。 	<ul style="list-style-type: none"> *もう少し声掛けをすればよかったと思いました。 ・じゃんけんのゲームの説明がもう少しあってもよかったと思った。最後のジャンケン友達同士とするのも楽しい。 *もっとパターンを変えた遊び方を考えられたらよかった。 ・裏返すゲームは線を決めてどこまで移動したらいいのか決めると、もっと楽しめたと思いました。
	B クラス	<ul style="list-style-type: none"> ・最後に踊ったダンスが楽しかったです。 ・内容が詰まっていた楽しかったです。 ・協力している姿が印象的だった。 ・声かけも優しく、おもしろかったです。 *スムーズに進んでよかった。 	<ul style="list-style-type: none"> *待ち時間をもっと考えられたかなとも思いました。 ・人間知恵の輪は少人数で始めるのがいいと思いました。 ・イントロを当てる人がかたよってた。 ・伝言ゲームは口パクで口の動きを見て当てる方がやりやすかったかもしれない。
6 回目	A クラス	<ul style="list-style-type: none"> ・時間内にもなっていて素晴らしい。 ・伝言ゲームなど凄く楽しかったです。 ・ハンカチ落とし逃げきれてよかった。 ・ボールでバレーするのが楽しかったです。 ・みんなで楽しめたことはとても良かったです。 ・みんな笑顔で団結していた。 	<ul style="list-style-type: none"> ・全体的に難しかったかなと感じました。 *バレーボールは風船ですればよかったと思った。 *もう少し段取りよく進めることが出来たらよかった。 ・折り紙でサンタを作るのが少し難しかったかなと思いました。 *進行や何を説明するかなど計画を立てて進めるともっとよくなると感じた。
	B クラス	<ul style="list-style-type: none"> ・進み具合がいい感じでとてもよかったです。 *手遊びも大きな声で歌ってくれて良かったです。 ・クリスマスらしい企画がいっぱい入っていて楽しかったです。サンタさんの折り紙を考えていたのがすごかった。 *輪っか作り協力してできてよかった。 ・みんな声が通って聞きやすかったです。 	<ul style="list-style-type: none"> *リースの折り紙を細くするとやりやすいと感じた。 *絵本の読み聞かせは、後ろまで見えるように工夫するほうがよいと感じた。 *もう少し多めに折り紙を用意しておくべきだった。

各クラス6回実施した模擬保育「お楽しみ会」直後の振り返りの記述は、主に次の3つのカテゴリーに分けられた。

○協力とチームワーク

良かったと思うことの記述には、「グループの学生らがコミュニケーションを取りながら活動をしていたのがいいと感じました」とあり、活動を通じて、学生同士の会話や協力が増えたことが評価されていた。一方、もっとこうすればよかったと思うことの記述には、学生同士のコミュニケーションや言葉かけが不足しており、保育者役には子どもが理解できるように説明すること

が求められていた。また、保育者役の声が小さくて聞こえにくい場面があったという記述も見られた。

○進行と計画の重要性

保育者役が進行や説明の計画を立てることで、活動がよりスムーズに進むと感じた学生が多く、特に、ゲーム前の説明や導入をわかりやすくすることが重要だと指摘していた。障害物競走や椅子取りゲームなどの活動では、参加しない子どもたちが退屈しないような工夫が必要であり、全体の流れを把握することでスムーズに進行できるという具体的な意見も見られた。

○多様な遊びの提供と工夫

良かったと思うことの記述には、一つのあそびから様々な遊びに広げていたことがとても面白かったこと、グループで考えて絆が深まり盛り上がりがあったことなどが書かれていた。また、多様な遊びが提供され、子どもが興味を持ち続けられる工夫が評価されていた。一方、もっとこうすればよかったと思うことの記述には、折り紙の折り方やバレーボールなどの遊びの環境について、もう少し工夫が必要だと感じていることが伺えた。また、じゃんけん列車、フルーツバスケットやカプラなどの遊びについて、もっと多様なパターンや工夫が必要だと感じており、「椅子の出し方とか椅子に座るなら順番変えた方がいいねとか、もっと話し合えば良かったと思いました。」という具体的な改善案の記述も見られた。

②最終レポートに見られた模擬保育「お楽しみ会」についての記述

全体として、学生は模擬保育「お楽しみ会」を通じて楽しい経験をし、チームワークや発表のスキルを学びつつ、改善点を見つけて次回に活かそうとする姿勢が見受けられた。この姿勢は、模擬保育を終えた直後の振り返りでは気づけなかった観点が振り返りの共有によって見えてきたものであると推測される。

最終レポート課題に見られた学生の記述の一部を表7に示した。

表7 最終レポート課題に記載された学生の記述例

よかったと思うこと	もっとこうすればよかったと思うこと
<ul style="list-style-type: none"> ・ 被りがなく、たくさんの遊びをみんなで楽しめた。 ・ みんなで協力しながら話し合っているのが楽しかったです。 ・ 協力して楽しくできたのでよかった。私が知らない遊びも沢山知ることが出来ました。 ・ みんな楽しんでくれていたのでとてもよかった。 ・ 友達の発表を見ることができたことがよかったです。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 説明をもう少し丁寧にしたらよかったかなと思った。 ・ 時間をもっとみて動けばよかったと思いました。 ・ 声をもっとはっきり出せばよかったと思いました。 ・ 大きい声でわかりやすくすればよかったと思った。 ・ もっと積極的に参加すればよかったなと思いました。 ・ もう少し進行と時間配分を上手にすればよかったと思いました。もっと積極的に取り組んで遊びなどに参加したらよかった。

- ・みんな全力で楽しんで遊べて懐かしい遊びもできて楽しかったです。いい知識が身についた感じがしました。
- ・自分も楽しまないといけないと思った。
- ・みんなが考えた遊びみんなで作って仲良くなれてよかったです！

- ・最終確認をもっと詳細にすることが必要だと思った。
- ・事前にもっと打ち合わせをしていけばよかったと思いました。
- ・もう少し積極的に参加すればよかったかなと思います。

最終レポート課題の記述は、主に次の3つのカテゴリーに分けられた。

○楽しい経験とチームワークの重要性

最終レポート課題の記述には、「みんなの遊びを楽しめた。知らない遊びを知ることも出来た。」「グループのみんなが明るく元気な子たちばかりだったので、準備の段階から楽しく取り組むことができてよかった。」が挙げられ、模擬保育「お楽しみ会」を通じて、学生は新しい遊びを体験し、仲間との協力が、活動をより楽しいものにしたことが伺えた。また、「実際にできるような遊びがたくさんあって子ども側になって体験できたので、もっとこうしたらいいのにかいろいろ考えられた。」という記述から、様々な遊びを体験することで、新しい知識や改善点を見つけられたと推測される。

○発表の経験と成長

良かったと思うことの記述には、「子どもの前で発表する練習として、緊張があったが、慣れるのが早かったので前で発表することがよかった」「みんなの前で遊びをすすめることで段々慣れてきたのがよかった」が挙げられ、人前での発表を通じて、緊張を克服し、成長を感じたことが強調されていた。また、「みんなの保育のやり方を見ることが出来てとてもいい学びになりました。」とあるように、他のグループの発表を通じて、保育の方法や遊びの進め方を学ぶことができたと感じている記述も見られた。

○改善点の認識と次回への意欲

もっとこうすればよかったと思うことの記述には、「私たちの班は時間配分があんまり取れていなかったのでもっとしっかりと段取りよく進めることでよりスムーズになると思いました。」が挙げられ、活動の進行において、時間管理や準備の重要性を再認識したことが伺えた。また、「もっと積極的に参加すればよかったなと思いました。」という記述からは、自己を反省し次回の活動に向けて、より積極的に取り組む意欲が見られた。

IV. まとめと課題

本稿では、「教職実践演習（幼稚園）」の授業実践について報告した。当該科目は、まとめの時期に当たる2年後期に開講している。学生の模擬保育「お楽しみ会」の振り返りや、最終課題レポートからは、全体として、楽しい経験ができたことに対する満足感が表現されていた。また、

この模擬保育「お楽しみ会」を通じて、学生は協力、発表、遊びの体験、学びの機会を得て、楽しい思い出を作ることができたことが伝わってきた。しかし、一方で、学生は自身の役割や進行方法、学生全員の関与を促す工夫、そして、事前準備の重要性を強調しており、今後に向けた改善点を具体的に挙げていた。全員の学生が保育者役を経験したことで、最終課題レポートでは模擬保育に関する振り返りのみならず、「教職実践演習（幼稚園）」の授業における学生自身の参加態度や学びについての気づきが多く見られた。

これらの気づきは、「教職実践演習（幼稚園）」の科目を「今まで学生が身に付けた資質能力が、教員として最小限必要な資質能力として有機的に統合され、形成されたかについて、大学が自らの養成する教員像や到達目標等に照らして最終的に確認するもの」⁵⁾であることを意識し、模擬保育を取り入れたことで、保育士資格、幼稚園教諭二種免許状にかかる実習経験を振り返る機会にもなり、学生から引き出すことができたと推察される。

今後は、今回の学生から得た「教職を目指す上での自己評価」のデータをもとに、学生の成長実感や自己評価の変容についての分析を行い、「教職実践演習（幼稚園）」の在り方について模索していきたい。

引用・参考文献

- 1) 中央教育審議会．「今後の教員養成・免許 制度の在り方について（答申）」．文部科学省．2006-7-11.
https://www.mext.go.jp/b_menu/shingi/chukyo/chukyo0/toushin/1212707.htm
(参照 2023-08-20)
- 2) <https://tandai.jonan.jp/about/policy/> (参照 2023-09-30)
- 3) 米倉慶子・木村安宏・野口美乃里・川邊浩史・占部尊士・赤坂久子・金丸智美・春原淑雄・山口玲子・津上佳奈美・樋渡恵理子．地域との連携取組における学生の学び—保育・教職実践演習の学びの一環として—．西九州大学短期大学部幼児保育学科．2016. 47. 65-74.
- 4) 近藤万里子・林恵．教職実践演習における学生の学び—保育のアイデア集の作成を通して—．帝京短期大学 教育研究報告集．2019. 39-45.
- 5) 中央教育審議会．「今後の教員養成・免許 制度の在り方について（答申）」．文部科学省．2006-7-11.
https://www.mext.go.jp/b_menu/shingi/chukyo/chukyo0/toushin/1212707.htm
(参照 2023-08-20)

(ひぐち みゆき：大阪総合保育大学児童保育学部講師)